

# スパーク衣笠【緊急時応急対応マニュアル】

## 1. 共通フロー(事故・急変が起きたら)

1. 通報・連絡 → 必要に応じて「119番」「救急安心センター([#7119](#))」「保護者」へ連絡。
2. 他児童の誘導 → もう1人のスタッフが他の児童を別室へ誘導し、安心させる(見せない)。

## 2. 場面別・応急対応マニュアル

### ①強い打撲・骨折・脱臼

#### 1.【頭部】

頭部への衝撃は、「その場の症状」と「あとから出る症状(24時間以内の観察)」の両方が重要です。

##### ● 応急処置

- 無理に動かさず、安全な場所で安静にさせる。
- たんこぶや赤くなっている場所を、タオルを巻いた保冷剤等で冷やす。
- 保護者へ「24時間のご家庭でも経過観察が必要」な旨を必ず伝える。
- 

##### ● 救急車(119番)を呼ぶ基準(ひとつでも当てはまったら即通報)

- [ ] 一瞬でも意識を失った(ぶつけた直後に泣かなかった等)
- [ ] 意識がない、呼びかけても反応が鈍い・ぼーっとしている
- [ ] 何度も吐く、強い吐き気やめまいを訴える
- [ ] けいれん(ひきつけ)を起こした
- [ ] 鼻や耳から「血」や「透明な液体」が流れてくる
- [ ] 左右の黒目(瞳孔)の大きさが違う、視線が合わない
- [ ] 手足にしびれ・麻痺がある、うまく歩けない

#### 2.【頭部以外】(手足・顔・胸・お腹・腰など)

手足や体を強く打ちつけた場合は、「無理に伸ばしたり曲げたりせず、一番ラクな姿勢で固定する」のが鉄則です。

##### ● 応急処置

- 動かさない: 痛がる場所を無理に伸ばしたり曲げたりせず、一番ラクな姿勢のまま動かさない(服も無理に脱がさない)。
- 冷やす: 痛む場所や腫れている場所を、タオル越しに保冷剤等で冷やす。
- 圧迫: うっ血しない程度に包帯等で圧迫する。
- 心臓より高く(手足の場合): 可能であれば、手足を少し高くすると痛みや腫れが和らぎます。

-  救急車(119番)を呼ぶ基準(即通報)
  - [ ] 胸やお腹を強く打ち、顔色が真っ青・息苦しそうにしている(内臓損傷の疑い)
  - [ ] 背中や腰を強く打ち、足にしびれがある・力が入らない(脊髄損傷の疑い)
-  病院を受診する基準(保護者へ連絡し、整形外科等を受診)
  - 患部が明らかに変形している、関節が変な方向を向いている
  - 痛みが強く、手足に体重をかけられない・力が入らない・動かせない
  - 腫れや内出血がどんどんひどくなってくる
  - 目の周辺を強く打ち、物が見えにくい・二重に見える(眼科等へ)

## ② 発作・けいれん(ひきつけ)

### 1. 危険の回避と安全確保

- 平らな安全な場所(マット等)に横にさせ、周囲の危険物(家具・おもちゃ)を遠ざける。
- 絶対に口の中に指やタオルを入れない！(舌を噛むことはほとんどありません。窒息の原因になります)
- 体を無理に押さえつけたり、叩いたりしない。

### 2. 姿勢の調整・観察

- 嘔吐による窒息を防ぐため、顔(体)を横に向ける(回復体位)。
- 衣服の首元やベルトを緩めて呼吸をラクにする。
- 「けいれんが始まった時間」を時計で確認する(何分続いているか重要)。

### 3. 救急車(119番)を呼ぶ基準

- [ ] けいれんが5分以上続いている
- [ ] けいれんが治まった後も意識が戻らない・呼吸がおかしい
- [ ] 初めてのけいれん、または短時間で繰り返す
- [ ] 顔色が著しく悪い(チアノーゼ)、怪我を伴っている

## ③ 誤飲・誤食

### 1. 口の中を確認する

- 口の中に残っているものは、向こうを向かせて吐き出させる(奥に指を突っ込まない)。
- 絶対に無理に吐かせてはいけないもの：
  - タバコ、灯油、強酸・強アルカリ洗剤、ボタン電池、尖ったもの(食道や気管を傷めます)

### 2. 中毒110番で相談(判断に迷ったら)

- 何を・どれくらい・いつ 飲んだか確認し、電話で専門家の指示を受ける。

### 3. 救急車(119番)を呼ぶ基準

- ぐったりしている、息が苦しそう、意識がない
- ボタン電池、強薬品、金属・プラスチックの塊を飲み込んだ

## ④ ハチに刺された

### 1. すぐに安全な場所へ避難

- ハチが戻ってくる可能性があるため、直ちに児童を室内や遠くへ退避させる。

### 2. 応急処置

- 傷口を洗う・絞り出す：流水（水道水）で傷口を強く押し出しながら、毒と針を水で洗い流す。
- 冷やす：氷のうや保冷剤（タオルを巻いたもの）で刺された場所を冷やす。
- ※口で毒を吸い出さない。アンモニア水（尿など）は効果がありません。

### 3. 救急車（119番）を呼ぶ基準（アナフィラキシーショック）

- [ ] 刺されて数分～数十分で蕁麻疹（じんましん）、激しいかゆみが出た
- [ ] 息苦しさ、ゼーゼーする咳、声の枯れがある
- [ ] 嘔吐、強い腹痛、顔色が悪い、意識が朦朧としている
- ※過去にハチに刺されたことがある児童は重症化しやすいため、厳重に観察する。

## ⑤ 鼻血（はなぢ）

### 1. 正しい姿勢にする

- 椅子に座らせ、やや下を向かせる（前かがみ）。
- 【NG】上を向かせたり、首の後ろを叩いたりしない！（血が喉に流れて飲み込み、吐き気の原因になります）

### 2. 圧迫止血

- 小鼻（小鼻の柔らかい部分）を、親指と人差し指で両側から強くつまむ。
- そのまま10分～15分間、一度も指を離さずに押し続ける。
- 鼻の中にティッシュを詰め込みすぎない（抜く時に再度出血します）。

### 3. 病院受診・通報の基準

- 20分以上圧迫しても血が止まらない場合
- 頭を強く打った後に透明な液体や血が混ざった液が流れてくる場合 → 即救急車（119番）

## ⑥ 熱中症・脱水

### 1. 応急処置

- クーラーの効いた室内へ移動し、服を緩める。
- 首の両脇・わきの下・太ももの付け根を冷やす。
- スポーツドリンクなどを少しずつ飲ませる。

### 2. 救急車（119番）基準

- 自力で水分が飲めない、意識がおかしい、吐き気・嘔吐がある。

## ⑦ 嘔吐

### 応急処置

- ①子どもたちを嘔吐物から離す。他の職員に嘔吐した子どものうがいをお願いする。子どもの衣服に嘔吐物がついていたら着替えさせる。また、別の職員に窓を開けて換気することをお願いする。
- ②ガウン、手袋、マスク、足カバー等を装着する。
- ③嘔吐物に「ゲロケア」を振りかけ、処理しやすくする。
- ④嘔吐物を外から中へ集め、ごみ袋に入れていく。
- ⑤周辺のおもちゃや壁等へ飛散がないか確認。ある場合はまとめて処理する。
- ⑥嘔吐物を集め終わったら、全体に次亜塩素酸ナトリウム消毒液をスプレーする。

## ⑧ 発熱

### 応急処置

- ①子どもの顔が赤い、様子がおかしいと感じたら検温する。
- ②37.5度以上あったらまずは保護者に連絡し、迎えに来てもらう。
- ③保護者が迎えに来るまでの間は、他の子どもと離し、マットの上などに寝かせて氷等で冷やす。

※送迎で園に送る子どもは園に届けるのがよいか、スパークで待機がよいか保護者に確認する。

## 3. 緊急連絡先一覧(電話の傍に掲示)

| 連絡先                 | 電話番号                | 使う場面                                                    |
|---------------------|---------------------|---------------------------------------------------------|
| 消防・救急               | <b>119</b>          | 命に関わる緊急時                                                |
| 救急安心センター            | <b>#7119</b>        | 救急車を呼ぶか判断に迷った時                                          |
| 中毒110番              | <b>029-852-9999</b> | 異物(ハンドソープ、ボタン電池、消毒液、タバコ)等を誤飲したとき。命に別状はなさそうだが判断に迷う時連絡する。 |
| 新明外科胃腸科<br>(協力医療機関) | <b>046-853-3228</b> | 通常の怪我・体調不良の受診                                           |